

鶴岡市総合計画審議会 第5回社会基盤専門委員会（会議概要）

- 日時 平成30年10月29日(月) 午後2時～4時30分
- 会場 鶴岡市第三学区コミュニティセンター1階 大ホール
- 委員発言の概要

- ・「しゃかいのきばん」を全部ひらがなで書いた意図は？

特にひらがなにすると決めたものではないが、仮に見出し的につけたらどうかと、ニックネーム的に分かりやすいような内容という事であえてひらがなにしている。漢字でもいいと考えていて、全体をそろえた時にふさわしくないという事であれば修正したい。

- ・資料1の文章では、ずらずらっと書いてあるので何の事か分からない。なかなか10年後の鶴岡市が映像として思い浮かばない。具体的な施策を実現化させる為にはこういう事が必要で、市民がチェックできるようなシステムにして、市民もまちづくりに参加でき、未来の鶴岡市がこうなればいいということ共有できるようにすることと思う。

これまでの一定の形式などを踏襲してまとめさせていただいた。

総合計画は10年間の計画となるので、方向性について委員会で議論いただいた上で、今後に取り組む内容や方向性を整理して記載させていただき、さらに大綱に関してはその後の基本計画につながる部分のそれぞれの節というか、中項目などの考え方を示したいと考えている。記載の内容は、できるだけ分かりやすいものにするように工夫をしているが、改善する必要があるという事でご意見を頂戴したので更に検討させていただきたい。

- ・「しゃかいのきばん」というのは他とのバランスもあるだろうけれども、漢字にしてもよいと思う。箇条書きにするとか、分かりやすさの工夫は今後検討いただくということか？

具体的な部分に関しては、総合計画を受けて、この後に実施計画を毎年度、3か年くらいのスパンでローリングさせていくことを考えている。今回の総合計画はそれに対する大きな方向性という事になる。若干具体的な部分というところは、実施計画に役割を持たせているという事になるので、その部分のご理解いただきたい。

- ・流れとしてはそういう事だろうなとは思いますが、今鶴岡市に欠けている物は何で、それをどう補っていくと、みなさんが住みやすい都市になりますよという、逆の発想というのは出来ないのか？
というのは、実施計画から始めて集大成として基本計画があるというような、今の流れとは逆には考えられないものか？

第1回から流れの中で、これまでの基本計画や実施の内容などの現状、課題などを今日まで整理してきたと考えており、委員発言のような形でつめてきたつもりではありましたが、まだまだ分かりにくいとか十分でないという反省と受け止めたい。この内容に関して本日最後の会という事でもあるので、具体的な文言の修正や、分かりにくい部分の指摘など、ご指導といたしますか、アドバイスをいただくと大変参考にさせていただけると思うのでよろしくお願ひしたい。

- ・資料1で、本文の4行目から、3つの大きい柱を説明していただいたが、よく分からないのは、中項目の4点とのつながりが分からないから。
この3つの柱は、1は快適な都市環境の形成は入ってくると思う。3も2の交流連携の推進の中にバス路線とかネットワークとかの話しに入ってくると思う。『先端研究産業との連携による多様な住環境整備』というのが、この4つの中のどこに出てくるのか分からない。
この3つの柱は、そもそも社会基盤に出てくる話なのかとも思った。全体的な目標をここで書く必要があるのかと思った。

- ・私も同じような意見で、この3つの柱とあとの4項目はどういう関係にあるのかちょっと分からなかった。この辺の整理が必要と思う。3つの柱が、しかも立適の内容になっているという事で、街の全体の構造の話と、社会基盤の話は似ているが、少し見る角度が違うと思う。その辺の整理が無いから非常に分かりにくいのかなという気がする。若干の修正というのは可能なのか？

分かりづらいという事なので、もう少し関連性などをチェックして修正していきたいと思う。

- ・書き方の課題も若干あると思う。例えば4項目の一つ、「快適な都市環境の形成」の項目の段落があるが、快適な都市環境の形成は？というテーマが

提示されているが、この最後の述語にあたるのは、「住民生活の利便性向上を図ります。」となっていて、ある意味同じ事を繰り返している。都市環境の形成を住民生活の利便性向上と考えるので、こういう事に先に取り組みたいとか、そういう表現にさせていただくと「計画」という意味があって、税金をどこに重点的に投入するのかという事になると思う。審議会に提案する時に社会基盤はこうするという明解な方向性、しかも柱はこれだということであれば、関連をきちんとした方がいいと思う。

最初のタイトルも「住環境の循環により、市域内外の交流を拡大します」というのが結論になっているが、交流拡大が社会基盤の政策目標ではなくて、交流拡大も一つのテーマだとは思いますが、それに向かって社会基盤としてはこれをやりますとか、そういう風にした方が分かりやすいのではないかと思った。

- ・ちょっと難しくてずれた意見かもしれないが、資料1の事でなくて全体的に感じた事だが、今までソフト的な話しもしてきたと思う。60代から80代くらいの方を中心にいろいろ組んでいったらどうかとか、他にもいろいろな意見が出ていたと思うが、都市計画と社会基盤が混同しているのではないかというところで、資料では最終的なハードの部分の話しに結び付いていく事が述べられている感じがして、ソフト的な部分をどうする？というような結末が見えない。今まで話していたところはどの辺にあるのかなという感じでよく分からないと思った。
- ・前回、60代以上の世代がうまく使っているいろいろな活躍できる場を作っていくということが、いろんな意味で大切だろうという意見があったと思うが、どこにそのことが反映されているのか分かりにくい。今までの意見はどういう風に展開されているのかを含めて教えていただきたい。
- ・タイトルのところで「地域の生活や活動を 支える基盤を整え、交通・情報のネットワークの充実と住環境の循環により・・・」となっているが、この社会基盤は基本的にはハードの施策と思っているが、タイトルを見ると情報のネットワークとかソフト的な事も入っていて、そういうものを入れていいのかわからないのかその辺もよく分からない。施設保全マネジメントシステムだとか、ICTとか。そこだけ急に具体的なソフトが出てきて。他も本当はソフトと連携する事業もたくさんあると思うが出てこないというのが良く分からないと感じる。

- 最初のタイトルだったら、「市域内外の交流を拡大します」というソフトの事が目標のように書かれているが、基本的にはハードの委員会だと思う。ソフトを活かしながら、ハードはこうしたいと。ソフトとハードがうまくマネジメントされることが社会基盤の議論してきた内容なのだと思う。その辺を配慮してもらいたい。
- (1) のアのコンパクト+ネットワーク、鶴岡市は東北で一番面積が大きいと言いながら、どうやってコンパクトにするのかという素朴な疑問が出てくる。だから10年後にはこうしますと書いているのだろうが、何がどうなのか分かりづらい。議会を通さないとならないとか、予算のこととか色々なことがあって書きづらいと思うが、本当のところはどうなのか。要は何か制限をつける為にこういう事をやっていこうとしているのか。確かに文章的には、曖昧なところを残しつつやっていくというのが非常にうまいところだと思うが。10年後どうなっているのか。例えば人口はどんどん少なくなっていて、高齢者が多くなっても大丈夫なのかということ。
- 「コンパクト+ネットワーク」の問題は、並行して進んでいる立地適正化計画との関連もあって、書き方が結構難しいので、整理した方がよいと思う。あとは、計画フレームの問題。本当はこの議論の中でも、計画フレームをもう少し議論して、人口はこうなるだろうとかそういうのがあった方がよいのかもしれない。他の委員会との関係もあるのかなと思うが。
- 資料2の話だが、施策の方向があって、主な施策があって、主な施策を見ると、例えば、(1)の「イ 賑わいのある中心市街地の形成」のところの①都市機能の集積のところでは「推進します。」、②は「促進します。」と書いてあるが、どういう形で推進、促進していくのかが見えないので、10年後どうなるのか書きにくいのかと思った。
- 具体的な内容は実施計画でやるというのだが、何が大事なのかを示していないから分かりにくい気がする。もしかしたら「未来創造プロジェクト」につながるのかもしれないが。
- 快適な都市環境の形成で、目標値が歩行者通行量と書かれている。これがすごく大事な目標、指標になるのかどうかとか、唐突な感じがすごくする。

これから景観の質とか歴史・文化とか体現できる街を作っていこうとしているので、中心市街地活性化計画の指標は分かりやすいのだが、今まで達成できなかったわけだから、また今後10年同じような目標で指標を出しているのか疑問に感じる。

指標について先ほどの説明の中で、設定しづらい部分もあるところなので、そのへんのところは、今後も検討していくことでご理解いただきたい。

実際のところ中項目の中でも、小項目アからオとか、アからキとか沢山の施策の方向性がある、その中で二つ三つ挙げるということもあるのかもしれないが、今の段階では関連する指標を一つというふうに、我々は認識している。その辺は非常に難しい部分もある。こういうところというのであれば、ご意見を頂ければと思う。

- ・ 指標としては土地価格。鶴岡市の土地価格は安い所、高い所含めて平均的に10万円くらいだと不動産業界ではみている。それを数年前、10年前、20年前とさかのぼっていくと、5万円から高い所だと坪20万円の所もあった。10年前からくらべると、5万円から10万円くらい落ちている。それを社会基盤の指標と考えるならば、評価額、そういったものを指標と考えていった方が良いのではないか。
- ・ 他にも町に住んでいる人の満足度だとか、住んでいるお年寄りの生活利便性がどうなのかとか、一つにするのは難しいと思う。
- ・ 歩行者、自転車の通行量は、今までずっと調査してきて、それ自身も大きな指標にすることの基本が全国的に出ている指標と思う。街の中の整備だとか、街の中の環境だとか、歴史文化性だとか、そういうもので街の中を評価しようというのが、ここに当てはまる指標だと思う。
- ・ 歩行者通行量も気になったが、最後の「計画的な治水強化と市土の保全」で、愛護団体と活動団体数が評価にかかわるのは難しいと思う。一個にすることはすごく厳しいと思う。
ただそれを書いてしまうと、この一つのテーマに対してすごくそこが重要だという風にみえてしまう。そういった意味で何を挙げるかっていうのをもっと精査しないといけないのかなと思う。

- ・指標を何にするかっていうのが施策の優先順位を考えることにもつながるという意見だ。これは他の委員会との関係もおそらくあるのだと思う。ここを議論のテーマにしてもらいたい。

大変難しい設定でもあると思う。「満足度」というところでは、かなり分かりやすい、ただこれについてはアンケート調査を必要とする。現状でのアンケート調査の実績が無いので指標として使えない。

- ・指標とかそういうのとは関係ないが、先ほどの文章は中学生の方にも理解してもらいたいような、そのくらいの優しさで書くと。ということは、今後を担う人達に読んでもらいたいと考えていると思う。その中で、「中心市街地」とある。先ほどの自転車、歩行者の通行量も「中心市街地」と書いてあるが、私らの年齢の中心市街地は、駅前とか銀座通りを考えるが、若い人達の中心市街地は、どちらかというショッピングセンターや、外食産業がある所を考えているのではないか。中心市街地と書かれて漠然とどの場所を示すの？と思った。中学生も分かる文章で書くというのは、若い方から読んでもらわないといけないわけなので、もうちょっと具体的に、イメージできるようにすればより良い。
- ・ちょっと難しいが、10年後どういう風になっているかというのはイメージが付きにくい。中山間地域も含めて、どういう風に社会基盤を整備していくのかが見えづらい。正直、鶴岡と書かなければどこの話なのかも分からないと感じてしまう。これから10年という計画なので、もう少し、ちょっとおもしろいなという部分を一つ二つ、遊び心とは言わないが、10年後の鶴岡はこうなっています、こうなっていたいというのがあった部分みたいのを、大きい項目でなくても、一つ二つ入れると学生や子育て世代の方は、面白いなと感じるのではないだろうか、少し掴みの部分があるのかなと思う。
- ・売りみたいなのはどのへんになるのか、そういうのも今後全体の計画の中で出すのかもしれない。若い人がささるというか、共感をよぶとかそういうところがないというか、書き方にもよるのかもしれませんが。

確かにこれから鶴岡そして日本を背負っていく若い人達が、未来に希望を持つということになると、関心を持つということになると思う。非常に難しい部分ではあります。そのへんのところももう一度検討しながら文

章を考えてみたいと思う。具体的な事業がこの中には見えてこないというのがみなさんの感じなのかなと思う。どうしてもそのようになると、三か年の実施計画決定、別にまた実施計画が冊子で皆さんの手元に届く形になると思う。なかなかそこまで出てこないこちらの方でも実感、実態として見えてこないと思っております。できるだけ皆さんの意見を頂いたものを、考えていきながら表していきたい。

- 都市のエリアの特性に合わせてと何回かあるのだが、都市のエリアとはどういう特性に着目して考えを整理していくのかが書いていないので、よく分からない。朝日のこうゆう所というのは都市のエリアとしてこれからこうすべき地域であるとか。ハードでやっていくところもあれば、ソフトでやっていくところもあるというようないろんなエリアの説明が必要と思う。
- 「安全・安心な生活基盤の整備」と「計画的な治水強化と市土の保全」についてのところだが、台風、大雨、地震等で災害が勃発している状況だ。その中で命が一番大切なことであり、耐震政策だとか、治水については、計画的という言葉はいいが、10年なのか、20年なのかさっぱり分からない。指標の話があったが、100あるものを10年で50くらいまでやるとかにしないと。人間の体の健康と同じだと思う。予防することが一番大事な事であって、結果をどうこう言うのではなくて、計画的にすべきだ。「10年でどれくらいまで改善します。」と、こういうような計画にすべきだと思う。

これからの整備について、はっきりなかなか言えない部分がある。「この事業については、何年後には計画する」ということを表せるかどうか、今後議論を重ねていく必要があるので、意見としていただき、内部での話し合いを進めていきたい。

- 10年後のイメージが思い描けないとかの話があったが、そういうことが「未来創造のプロジェクト」なのかなと思った。基本計画は、社会の基盤の1から4までで、中項目と施策の方向として網羅しなくてはならない内容があると思うが、重点的にやっていく内容を掲載するようにはしてはどうかと思うので、ここの見せ方でもう少し変わるのかなと感じた。逆にこの内容が分野オーダーする施策って書いているが、これとそれぞれのところがどう結びついているかが本当は必要

なのかなと思った。

- 今の内容は企画委員会で議論して、私も「未来創造」を先にもって行って、それを実現するために施策を展開するのがいいと言ったのだが、なかなか難しいという結論だった。

総合計画自体が全体の鶴岡市の仕事をもらす事なく書かなければいけないという性格があるものなので、これから特に力を入れていくようなところは分かりやすく説明ができるような形で提案させていただいている。ただ、企画専門委員会の議論の中では、あくまでも総合計画の目的は、全体の計画の更新、再利用を定めるというものなので、プロジェクト的なものはあまり置かず、全体の中からそれぞれの施策項目を結び付けて、基本計画の全体の総合計画の下に位置付けるということで企画専門委員会、審議会の方でまとまっています。

おおむね10年くらい取り組みの期間、中長期的な中で。実際にはこの後に作っていく実施計画などで具体的な内容など、整理をしながらまとめていく予定にしている。

- 計画の位置付けとしては、説明いただいたような形だとは思いますが、見せ方の話しなのかなと思うので、先程中学生でも見た時に、鶴岡市はこういう事を目指していると、最初に見えた方がいいと思う。
- 私もそう思っているいろいろな意見は申し上げたのだが。企画委員会でも結構割れて、今説明してもらったような方向という風に進んでおります。今日いろんな意見が出たので、修正してもらおう項目が結構あるかなと思う。大きくは表現の仕方の問題。あるいはどこまで突っ込んで書くか。それから今まで議論してきた内容は、どこにあるのかを分かるようにしていただきたい。あとは、具体的には指標をどうするか。難しい問題だとは思いますが、そういう問題等々、事務局の方でも今日の意見にできる限り対応いただいて、次の段階に進めていただければと思う。